

# 桂沢ダムの防災操作効果について

平成24年4月23日より融雪の影響により、幾春別川上流にある桂沢ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

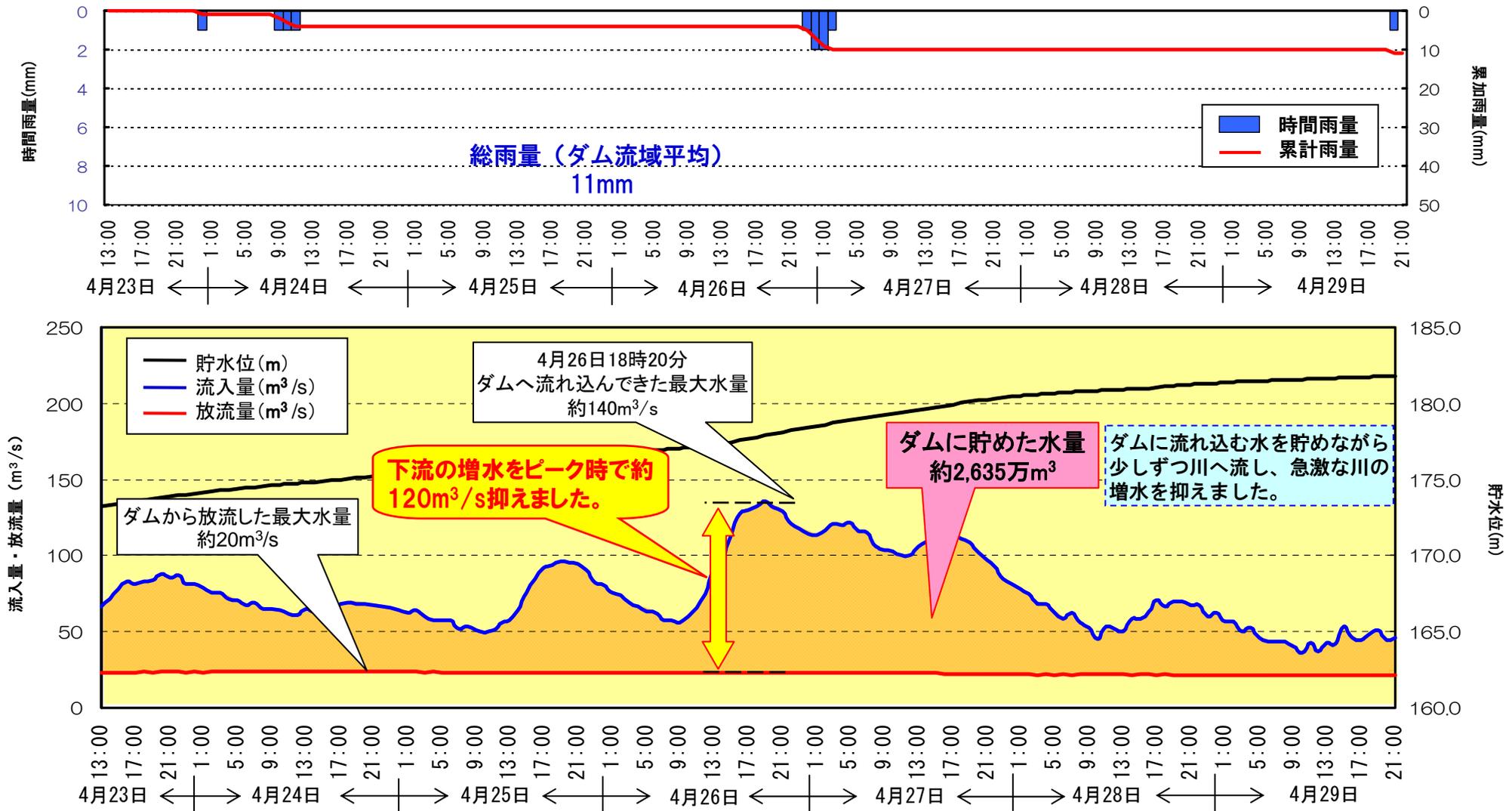
ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、幾春別川新川橋付近（西川向水位観測所）の水位を**概ね2m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます

# 桂沢ダムの防災操作状況

今回の出水において、桂沢ダムでは、最大で毎秒約140m<sup>3</sup>の流入がありました。  
 それに対し下流への放流を最大でも毎秒20m<sup>3</sup>程度に抑えこむことで、差分をダムに貯め込み、  
**約2,635万m<sup>3</sup>（札幌ドーム約17個分）**の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます

# 桂沢ダムによる水位低減効果（西川向水位観測所地点）

桂沢ダムの防災操作により、幾春別川の新川橋付近（西川向水位観測所）の水位を**概ね2m程度低減**させたと想定されます。これにより「はん濫注意水位」を超える水位上昇を抑えたと推測されます。

## ◆西川向水位観測所地点（ダム下流約33km）

